

今月のピックアップ <オオハンゴンソウ～外来種～>

背の高くて黄色の花をつけるオオハンゴンソウ。ニセコでもあちこちで見かける事ができます。このオオハンゴンソウは特定外来生物です。



オオハンゴンソウ
Rudbeckia laciniata

<脅威の生命力>

外来種は駆除しなければ、在来種にとって悪影響を及ぼします。オオハンゴンソウを駆除するには、種を作る前に花を刈り取る、地下茎から引っこ抜く方法があります。しかし、あるデータによれば、地下茎がわずかに2.4gでも残っていたり、土の上に放置したりすれば、そこから根を伸ばし、また再生してしまうこともあるのです。

北海道の主な外来生物達

アライグマ・ウチダサリガニ・ブラックバス・セイヨウオオマルハナバチ・セイヨウタンポポ・アメリカサリガニ・カブトムシ・トノサマガエル・ライギョ…等

<外来生物（種）ってなに？>

外来種とは元々その地域に存在していなかった生物のことです。元々地域にいた生物を在来種といいます。

外来種は、生命力や繁殖力の強いものが多く、生態系のバランスを狂わせ在来種の存在を脅かすことがあります。外来種による影響の例として、在来種が生息地を追い出される、交雑による遺伝子攪乱、捕食による直接的な排除が挙げられます。特に影響を及ぼす種を環境省により特定外来生物と定められました。特定外来生物は保管、移動、飼育が禁じられ、違反した場合厳しく罰せられます。



(すぎやん)

2011年
8月25日

発行：NPB

ねよーみ（村上尚美）

すぎやん（杉山辰也）

なつ（葛西奈津子）

ニセコ
自然だより
第十六号

自然の恵みにパンザイ

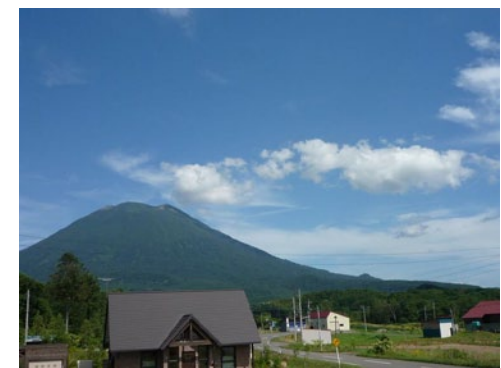
～旨みを閉じ込める～

茄子やピーマンを切らずに皮ごと焼いてみましょう。じっくり全面を焼くことによって中で蒸され、美味しく全て食べられるようになります。

この他に、旨みを中に閉じ込める料理に天ぷらがあります。天ぷらの衣が旨みや栄養をしっかりと閉じ込めるのです！オオハンゴンソウの葉も天ぷらにして食べられているそうですよ！

(すぎやん)

ニセコラム



羊蹄山は、ニセコのくらしに欠かせない存在です。私は毎朝、寝室の窓から羊蹄山を眺めます。夏は山頂あたりから朝日が出ますが、秋になると日の出はだんだん写真右側の山裾の方に移動し、冬は山裾にちょこんとある「てっぱり」から太陽がのぞきます。小学校の理科で習う「季節と太陽の動き」を実感する現象です。

ちなみに、この羊蹄山南麓の「てっぱり」は、過去の噴火で山体の一部が吹き飛ばされてできた流山（ながれやま）です。倶知安町側から見る美しく静かな羊蹄山と違い、ニセコ町側からは、山頂が崩壊し、荒々しい噴火の跡を残す羊蹄山が見られます。

(なつ)

【今月のテーマ】実のなるシーズン～ニセコエリアの町木たち～

ミズナラの実はめっちゃ渋い！



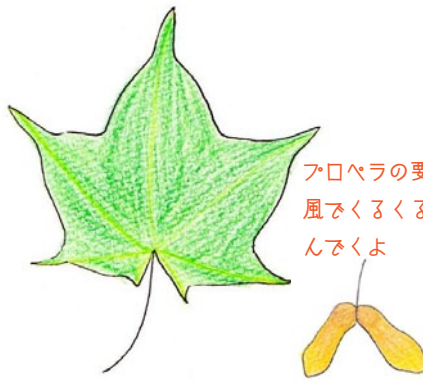
レンジャク（渡り鳥）の仲間も食べにくる

ナナカマド（岩内町）



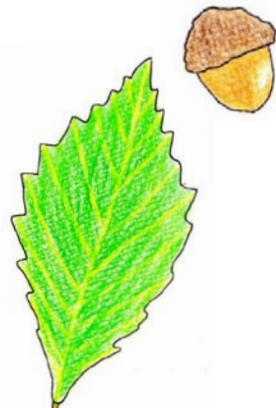
ねばねば甘い実種に毒あり注意！

イチイ（共和町）



アロペラの要領風でくるくる飛んでくよ

イタヤカエデ（倶知安町）



ミズナラ（京極町）



コブシ（蘭越町）



中の実はのびーる糸で繋がってる

シラカンバ（ニセコ町）



以前1房バラしてみたら、500個近くの種があった

カツラ（真狩村）

秋の落ち葉からは甘い香りが



この中に種がまってる

エゾヤマザクラ（喜茂別町）



鳥に食べてもらって遠くへ移動（ねよーみ）

【ねよーみの自然観察メモ】

オニヤンマ	初見	鏡沼	7/29	オオルリボシヤンマ	産卵	半月湖	8/10
オオルリボシヤンマ	初見	鏡沼	7/29	ハシボソガラス	若鳥 120羽以上群れ	ひらふ	8/10
アオイトトンボ	初見	鏡沼	7/29	ウメバチソウ	咲き始め	鏡沼	8/12
マガモ	親子連れ	鏡沼	7/29	オオルリボシヤンマ	産卵	鏡沼	8/12
シラカンバ	ハンノキハムシ被害進行	倶知安	7/30	ノシメトンボ	通過？迷い込み？	鏡沼	8/12
ミンミンゼミ	初鳴き	倶知安	8/8	ヒグマ	コグマ目撃情報	鏡沼	8/12
オオイトドリ	開花	ひらふ	8/8	クスサン	さなぎ	有島地区	8/20